

自治体の課題、現状

- ・守谷市は人口減少しておらず、ほとんどの学校部活動は学校単位で活動可能である。
- ・地域移行の取組の現状は、「守谷市部活動地域移行推進プラン」を策定し、令和5年度から令和7年度の3年間を改革推進期間と定め、地域移行可能な休日の部活動から段階的に地域移行を行っている。受け皿となる地域クラブについては、市からの業務委託により一般社団法人守谷市スポーツ協会が守谷スポーツ文化クラブ（MSCC）を運営している。
- ・地域移行を進める上での課題は、指導員・運営スタッフの人材確保、運営経費の増大、受益者負担の検討等である。

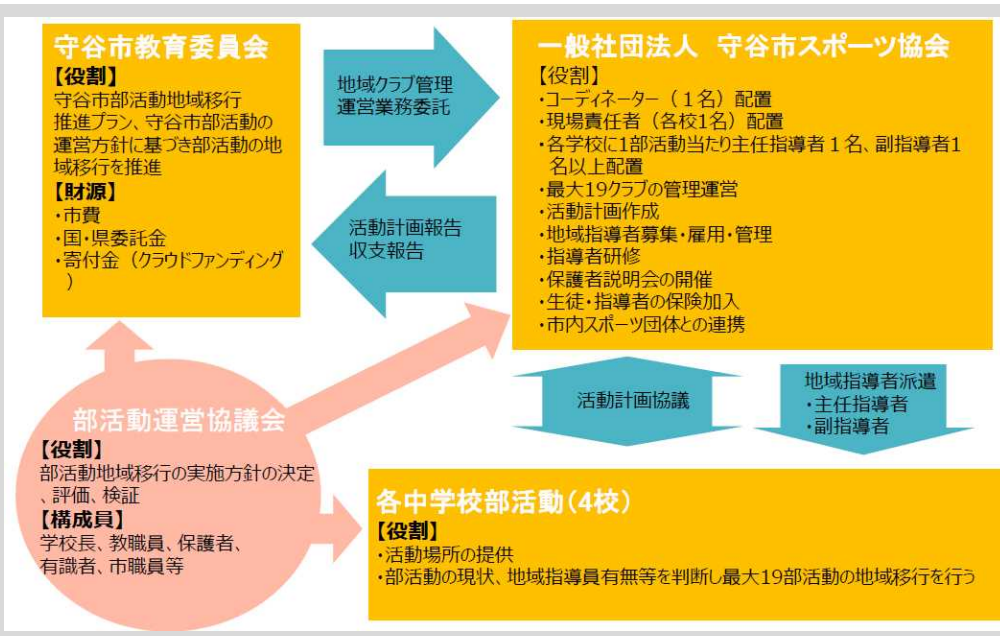
地域スポーツクラブ活動等の概要

|          |                                                                                               |            |                                       |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------------------------|
| 中学校数     | 4校                                                                                            | 全生徒数       | 1,913人                                |
| 域内の部活動数  | 52部<br>(スポーツ42部)                                                                              | 実施した地域クラブ数 | 19クラブ                                 |
| 全体の指導者数  | 42人                                                                                           | 全体の運営スタッフ数 | 5人                                    |
| 主な運営団体   | 守谷市スポーツ協会                                                                                     |            |                                       |
| 主な種目     | 女子バレー、男子ソフトテニス、男子卓球、女子卓球、柔道、サッカー、男子バスケットボール、女子バスケットボール、男子ハンドボール、女子ハンドボール、男子バドミントン、女子バドミントン、野球 |            |                                       |
| 平均的な活動回数 | 4回/月                                                                                          | 年間平均参加生徒実数 | 3年：10人/クラブ<br>2年：10人/クラブ<br>1年：9人/クラブ |
| 参加会費     | 無料                                                                                            | 主な活動場所     | 守谷中学校<br>愛宕中学校<br>御所ヶ丘中学校<br>けやき台中学校  |

地域移行関連の取組、成果

- ・指導者として最低限必要な知識と技能を習得し、安全で効果的な活動を行うことのできる指導者を養成するため、コミュニケーション（子どもとの接し方）、コーチングの基礎、救命救急、身体のコンディショニング、ハラスメント等幅広い研修を実施した。
- ・公的資金の財源として、ふるさと納税型のクラウドファンディングによる寄付金集めを実施した。ふるさと納税型クラウドファンディングについては、令和5年度から継続して実施している。
- ・クラブ活動中のケガや不審者の侵入など様々な事態に対応するためクラブの危機管理マニュアルを策定した。

運営体制図



令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 茨城県守谷市

自治体名：茨城県守谷市

担当課名：生涯学習課

電話番号：0297-21-2686

本報告書は、スポーツ庁の「令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）」の一貫として、茨城県が実施した「令和6年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の成果をとりとめたものです。

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

|                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 面積                     | 35.71 km <sup>2</sup> |
| 人口                     | 70,900 人              |
| 公立中学校数                 | 4 校                   |
| 公立中学校生徒数               | 1,913 人               |
| 部活動数                   | 52 部活<br>(スポーツ42部活)   |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況    | 設置済み                  |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 策定済み                  |

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

### 【現状】

市内4中学校で、52の部活動（スポーツ：42（10種目）、文化：10（4種目））が活発に行われている。

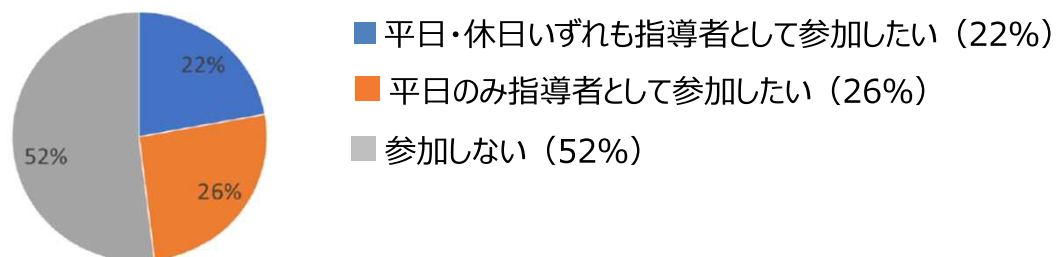
守谷市では、「守谷市部活動地域移行推進プラン」を令和5年3月に策定し、令和5年度から令和7年度の3年間を改革推進期間と定め、地域移行可能な休日の部活動から段階的に地域移行を行っている。

受け皿となる地域クラブについては、市からの業務委託により一般社団法人守谷市スポーツ協会が守谷スポーツ文化クラブ（MSCC）を運営しているが、地域移行を進めるうえで、コーディネーター、指導者等の人材確保、地域移行部活動数の増加に伴う運営経費の増大等が大きな課題となっている。

### 【課題】

- ・コーディネーター、指導者等の人材確保
- ・運営経費の増大
- ・活動費用の受益者負担の検討
- ・活動場所の確保（校舎使用におけるセキュリティ管理等）
- ・大会への参加・運営
- ・学校部活動の指導者である教員と休日クラブ活動の指導者との連携や情報共有

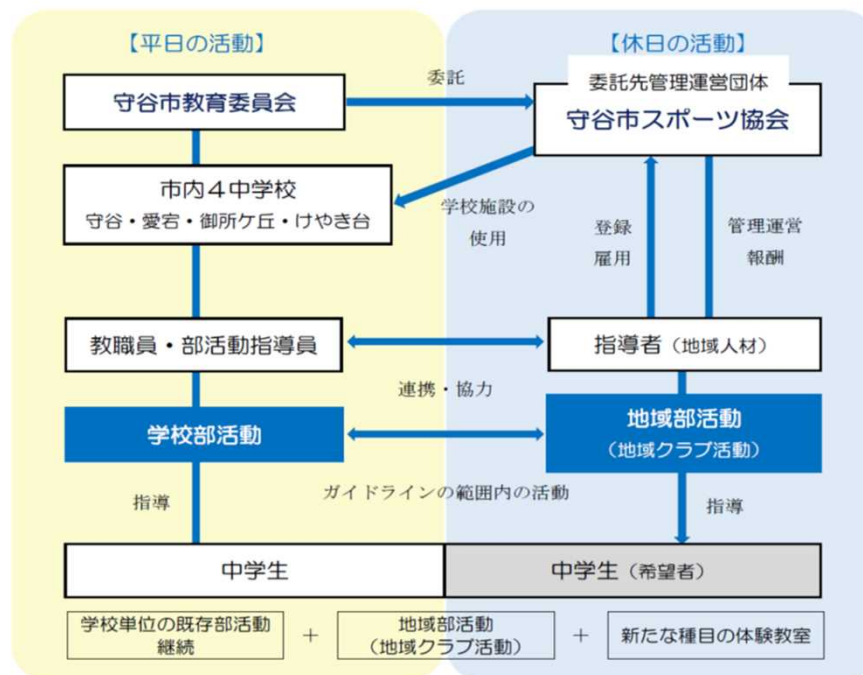
### 【地域移行した場合の教職員の参加意向アンケート結果（令和4年度実施）】



## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

・運営方針・推進計画・ガイドライン策定、委託先管理運営団体の管理監督、運営協議会の設置

##### ◎首長部局

・学校施設以外の公共施設の貸出し

### 年間の事業スケジュール

|         |                                        |
|---------|----------------------------------------|
| 令和6年4月  | 令和6年度地域クラブ活動開始<br>保護者説明会<br>指導者募集      |
| 令和6年5月  | 保護者説明会                                 |
| 令和6年6月  | 学校部活動調査                                |
| 令和6年7月  | 第1回部活動運営協議会                            |
| 令和6年8月  | 危機管理マニュアル作成                            |
| 令和6年9月  | 指導者研修会開催<br>（3月まで継続開催）                 |
| 令和6年10月 | 活動体験会開催<br>（2月まで継続開催）<br>クラウドファンディング開始 |
| 令和6年11月 | 部活動アンケート                               |
| 令和6年12月 | クラウドファンディング終了                          |
| 令和7年1月  | 第2回部活動運営協議会                            |
| 令和7年2月  | 政策課題事業報告書作成                            |
| 令和7年3月  | 事業完了報告・成果報告書作成                         |

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

|          |                                              |             |               |
|----------|----------------------------------------------|-------------|---------------|
| 中学校数     | 4 校                                          | 実施した地域クラブ総数 | 19 クラブ        |
| ケース別クラブ数 | A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）              |             | 19 クラブ（19 部活） |
|          | B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等） |             | なし            |
| 全体の指導者数  | 42 人                                         | 全体の運営スタッフ数  | 5 人           |

#### ②各クラブに関すること

| クラブ名        | 運営団体種別 | 種目<br>※新規のものは末尾に（新）を付ける                                                                                | 実施回数                | 実施時間帯                                        | 参加者<br>（学年別）                        | 実施期間                | 活動場所                                     | 指導者数              | 運営スタッフ数<br>（他クラブと兼務）                 | 会費 | 大会参加方法  |
|-------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|----------------------------------------------|-------------------------------------|---------------------|------------------------------------------|-------------------|--------------------------------------|----|---------|
| 守谷スポーツ文化クラブ | スポーツ協会 | 女子バレー、男子ソフトテニス、男子卓球（新）、女子卓球、柔道、サッカー、男子バスケットボール（新）、女子バスケットボール、男子ハンドボール、女子ハンドボール、男子バドミントン、女子バドミントン、野球（新） | 月4～5回程度<br>※土・日曜日開催 | 午前8時～11時<br>午後1時～4時<br>※1活動3時間<br>※季節により変更あり | 中学<br>1年生173人<br>2年生196人<br>3年生200人 | 令和6年4月1日から令和7年3月31日 | ・守谷中学校<br>・愛宕中学校<br>・御所ヶ丘中学校<br>・けやき台中学校 | 42 人<br>※令和7年3月現在 | 5 人<br>（兼務なし）<br>※コーディネーター1人、現場責任者4人 | 無料 | 中体連：部活動 |

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- ジュニアスクール体験会（スイミング、テニス、サッカー）各種目1日で2回開催（午前の部、午後の部） 参加者 54 人
- ソフトテニス練習会・体験会、硬式テニス体験会 ソフトテニス、硬式テニス各4日間開催 参加者 のべ114 人
- ダンス体験教室 3クラスを3日間開催 参加者 のべ171 人

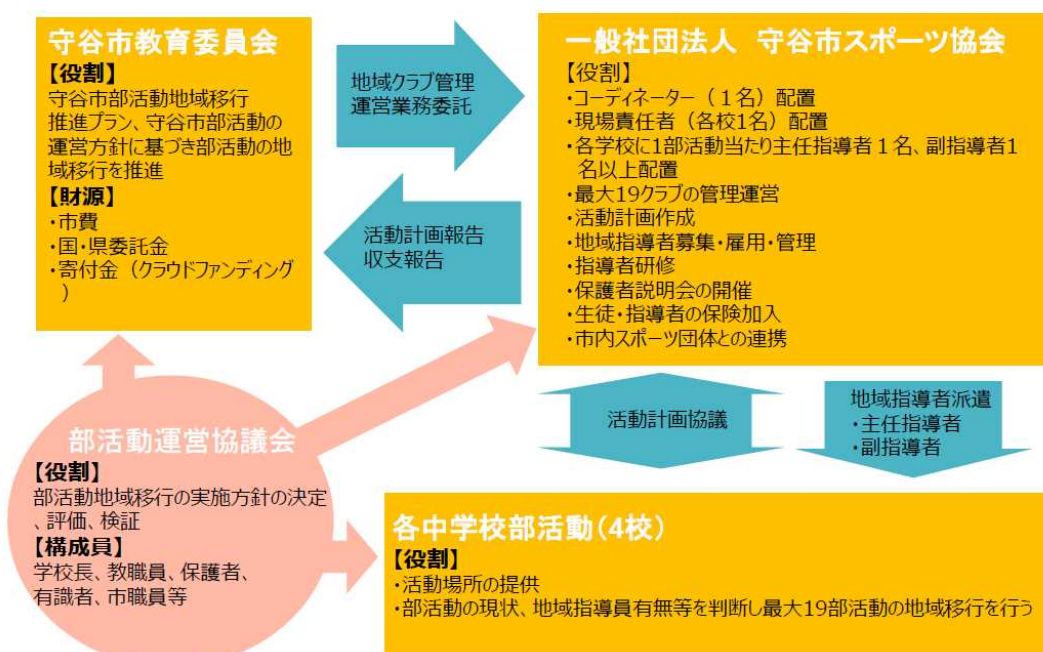
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●守谷スポーツ文化クラブ 活動概要

|                 |                                                                                               |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域クラブ活動で実施した種目  | 女子バレー、男子ソフトテニス、男子卓球、女子卓球、柔道、サッカー、男子バスケットボール、女子バスケットボール、男子ハンドボール、女子ハンドボール、男子バドミントン、女子バドミントン、野球 |
| 運営団体名           | 一般社団法人 守谷市スポーツ協会                                                                              |
| 期間と日数           | 令和6年4月～令和7年3月<br>月4～5回程度（土・日曜日）                                                               |
| 指導者の主な属性        | 会社員、自営業、社会人クラブチーム選手等                                                                          |
| 活動場所            | 守谷中学校、愛宕中学校、御所ヶ丘中学校、けやき台中学校                                                                   |
| 主な移動手段          | 自転車、徒歩及び保護者送迎                                                                                 |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | 無料                                                                                            |
| 1人あたりの保険料       | スポーツ安全保険<br>生徒1人あたり：800円/年<br>指導者1人あたり：1,850円/年                                               |

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

##### ●コーディネーター 1名

役割：市、学校との連絡調整、活動計画・報告書作成、事故対応等を行う

##### ●現場責任者 4名

役割：配置先学校との調整、指導者とりまとめ、事故対応等を行う

##### ●主任指導者・副指導者 42名

役割：指導内容の計画、生徒の指導、大会や練習試合への引率等を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

###### 【実施主体の整備】

一般社団法人守谷市スポーツ協会に、守谷スポーツ文化クラブ（MSCC）の活動及び管理運営を全面委託し、休日部活動地域移行の受け皿となる地域クラブの体制を整備する。地域移行の実施状況については、地域部活動運営協議会において検証し、推進プランの見直しを行う。

###### 【連絡調整】

指導者、生徒、保護者、顧問との連絡については、専用アプリ等を活用し個人情報に配慮した連絡体制を整備する。

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

市との連絡調整、活動計画及び報告書の作成、学校との連絡調整、活動中の事故やけがへの対応及び報告、学校施設及び物品の使用管理、運営スタッフのとりまとめ、部活顧問への現状調査及びヒアリング

##### 取組の成果

- ・地域移行することに対し、運営主体となる守谷市スポーツ協会から各部活動単位で保護者説明会を実施することで不安を解消できた。
- ・学校施設及び物品については部活動と同じように使用できるようになった。特に学校施設については、地域クラブが保健室を使えるように施設のセキュリティを見直した。
- ・部活動アプリの導入により、顧問と地域指導者、保護者との連絡体制を整備した。（情報共有）
- ・すべての指導員が不測の事態に対応できるよう、危機管理マニュアルを作成した。

##### 今後の課題と対応方針

- ・実際の活動に合わせ危機管理マニュアルや連絡体制を随時見直していく。

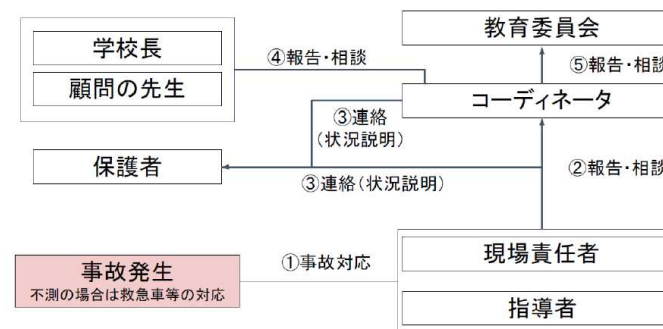
##### 【緊急時の連絡体制】

#### 3 緊急時の連絡体制

##### (1) 基本体制

一刻を争う場合は、この順番通りでなくてよい。まず生徒の命を最優先に動いていく。命の危険があると判断したときは、管理職への連絡は事後。

##### 緊急時—連絡体制について



出典:MSCC危機管理マニュアル

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 指導者研修の内容

- ・指導者として最低限必要な知識と技能を習得し、安全で効果的な活動を行うことのできる指導者を養成するため、コミュニケーション（子どもとの接し方）、コーチングの基礎、救命救急、身体のコンディショニング、ハラスメント等幅広い研修を実施した。
- ・実施にあたっては、より多くの指導者に研修参加の機会を与えるため、同一内容の研修を複数回実施した。
- ・運動中の熱中症リスクに対応するため、民間企業の協力により、熱中症対策のオンライン講座を実施した。

| 実施日        | 研修内容                                          |
|------------|-----------------------------------------------|
| 令和6年5月～8月  | 熱中症対策アンバサダー講座（オンライン）                          |
| 令和6年9月13日  | 危機管理（連絡体制、ケガ対応、不審者対応等）                        |
| 令和6年9月20日  | 危機管理（連絡体制、ケガ対応、不審者対応等）                        |
| 令和6年9月25日  | 講義A<br>①コミュニケーションの基本(生徒との接し方)<br>②ハラスメントとは    |
| 令和6年10月10日 | 1_救命救急<br>2_AED使い方<br>3_エピペン使い方               |
| 令和6年10月24日 | 講義B<br>①チームビルディングの構築とマネジメント<br>②コーチング法と勝利至上主義 |

| 実施日        | 研修内容                                           |
|------------|------------------------------------------------|
| 令和6年11月14日 | 講義A<br>①コミュニケーションの基本(生徒との接し方)<br>②ハラスメントとは     |
| 令和6年11月21日 | 1_救命救急<br>2_AED使い方<br>3_エピペン使い方                |
| 令和6年12月19日 | 講義B<br>①チームビルディングの構築とマネジメント<br>②コーチング法と勝利至上主義  |
| 令和6年12月27日 | 1_救命救急<br>2_AED使い方<br>3_エピペン使い方                |
| 令和6年11月26日 | 1_身体のコンディショニング<br>2_ケガをしない身体づくり<br>【あたまと身体で学ぶ】 |
| 令和7年1月23日  | 1_AED使い方                                       |
| 令和7年2月27日  | 1_身体のコンディショニング<br>2_ケガをしない身体づくり<br>【あたまと身体で学ぶ】 |

※3月まで実施予定 現在までの参加者 のべ56人

#### 今後の課題と対応方針

- ・新人指導者とベテラン指導者（指導者のレベルにあわせた研修内容見直し）

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化 / エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項（ウ、エ）

- ・スポーツ協会、スポーツ少年団、クラブチーム、民間事業者、文化協会など多様な実施主体が、社会体育・教育施設や文化施設を活用して、多様な活動に親しむ機会を確保する。
- ・指導者、参加者については守谷市内にこだわらず、県内、近県から人材確保ができるよう調整するとともに、県南西エリアの連携組織を生かし、情報共有を図っていく。
- ・地域の社会人クラブチームとの協力体制を構築し、スポーツ振興を図りながら有能な指導者人材を確保する。

##### 取組の成果（ウ、エ）

- ・新たな活動機会や体験機会を創出するために、市内民間事業者の協力を得て、ダンス、ソフトテニス、硬式テニス、サッカー、スイミングの体験会を実施した。
- ・体験会については、市内だけでなく広域的に参加者を募る企画とした。
- ・地域の社会人クラブチームから、地域クラブの指導者を確保した。
- ・指導者を派遣しているクラブチームからの招待により、子どもたちが社会人クラブチームの試合観戦を行った。

##### 今後の課題と対応方針（ウ、エ）

- ・体験会については、参加者や保護者から好評であったため、有料化を視野に入れ、今後もクラブ化を目標に継続実施していく。
- ・引き続き、社会人クラブチームからの指導者人材確保に努める。
- ・民間スポーツクラブにも協力を仰ぎ、指導者の確保に努める。

#### 【社会人クラブチームの試合観戦案内】

令和6年9月3日

愛宕中学校長 様  
サッカー部 様

FC ROWDY 事務局 石堂・沖山

**FC ROWDY 応援バスツアーのお知らせ**

日曜より、FC ROWDY MORIYA のお力添えを賜り、心よりお礼申し上げます。  
さて、この度は愛宕中学校サッカー部コーチである、丹野・麗実が所属する社会人チーム、FC ROWDY MORIYA の試合（茨城県社会人サッカーリーグ1部リーグ・後期第8節）の応援バスツアーを開催することとなりました。  
何かとご多忙な時期とは思いますが、ご参加賜りますようお願い申し上げます。  
当日はキッチンカー出店やイベントもご用意していますので、学校、保護者、生徒の皆様で ROWDY を応援し、楽しい思い出をまた一つ増やしていきましょう。  
また、生徒には指乗4名、ボールパーソン9名のご協力をいただきたいと思います。

記

- 対象：愛宕中学校教員、MSCC関係者、サッカー部生徒、サッカー部保護者
- 日時：9月29日(日) 10:00 集合
- 集合場所：愛宕中学校
- 持ち物：昼食のご準備をお願いします。※キッチンカーの出店あり。
- 役割：指乗4名・ボールパーソン9名、その他の方はスタンドで応援
- 会場：ケーズデンキスタジアム水戸
- 参加費：無料
- 申込締切：9月23日(月)



※乗車人数把握の為上記QRコードよりご登録をお願いいたします。

以上

茨城県社会人サッカーリーグ1部リーグ・後期第8節

FC ROWDY MORIYA VS IDENTITY MIRAI

**応援バスツアー！**

出発日：9月29日(日) 10:00 愛宕中学校

11:00 友部SA（休憩）⇒  
11:30 ケーズデンキスタジアム水戸着⇒  
13:00 ケーズデンキスタジアム水戸にて試合観戦⇒  
16:00 ケーズデンキスタジアム水戸出発⇒  
17:30 愛宕中学校着

**有限会社野村観光バス**

※参加費：無料

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

### オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### 取組事項

中学生に限定しない幅広い年代の人々が興味や関心、競技レベルに合わせ活動可能な『総合型地域スポーツクラブ』の礎となる地域クラブづくりを推進する。

##### 取組の成果

学校施設だけでなく、民間施設等も活用し、学校部活動にはない新たな種目のクラブ活動や体験教室等を実施し、多くの参加者に地域クラブの認知度向上を図れた。また、新たな種目のクラブ活動創出に向けての礎とすることができた。

##### 今後の課題と対応方針

活動場所や指導者の人材確保等の課題を検討し、新たな活動種目を創設していく。

##### 活動の詳細

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |      |      |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|
| 参加人数       | のべ 339 人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 指導者数 | 10 人 |
| 属性         | 守谷スポーツ文化クラブ主催                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |      |      |
| 具体的な内容     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ジュニアスクール体験会（スイミング、テニス、サッカー）1日で午前、午後の2回開催 参加者 54 名</li> <li>●ソフトテニス練習会・体験会、硬式テニス体験会 各4日間開催 参加者 のべ114 名</li> <li>●ダンス体験教室 3クラスを3日間開催 参加者 のべ171 名</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |      |
| 参加者、関係者等の声 | <p><b>【ジュニアスクール体験会（スイミング、テニス、サッカー）】</b><br/>           ①プールが苦手だったが、今回参加して克服できた。子どもがとても楽しそうだった。<br/>           ②新しいスポーツをやってみたい<br/>           ③初心者の体験会だったので安心して参加させることができた。</p> <p><b>【ソフトテニス練習会・体験会、硬式テニス体験会】</b><br/>           ①前回（昨年）も参加し、今回も参加した保護者から、学校の部活とは違い、専門のコーチが指導してくれて、子供も毎回楽しみにしているの、年1回だけではなく、定期的（3か月に1回程度）に実施して欲しいとの声あり。<br/>           ②参加した中学生より、他校の人も来ていたので、刺激になった。もっとこういった機会を増やして欲しい、回数を増やせないなら実施時間を部活動と同じぐらい（3時間程度）にして欲しいとの声あり。<br/>           ③保護者から、子供が中学校に進学したら部活動に入るか迷っていたが、体験会に参加し、楽しかったようで、中学に入ったらソフトテニス部に入部を決めたとの声あり。</p> <p><b>【ダンス体験教室】</b><br/>           ①参加者は、とても楽しそうにダンスを楽しんでいました。<br/>           ②保護者からも、このような機会をたくさんもうけてもらいたいとの声を多くいただきました。</p> |      |      |
| 運営経費       | 委託料 900,000円（1体験教室300,000円）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |      |

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等 / キ：学校施設の活用等

##### 取組事項（カ）

地域移行したクラブの受益者負担については、地域移行した部活動と学校部活動との間に格差が生じないよう、また、経済的な理由で子どもたちが自由なスポーツ活動等をあきらめることがないよう配慮する観点から、公的資金とのバランスを慎重に検討することとし、改革推進期間中（令和5年度～令和7年度）は徴収しない。

##### 取組の成果（カ）

参加費や保険料は運営主体が負担し、競技用具等については学校の承諾を得て学校部活動と共有させてもらっているため、生徒は経済的負担を気にすることなく地域クラブに参加できている。

##### 今後の課題と対応方針（カ）

- ・公的資金とのバランスを慎重に検討しながら、改革推進期間終了後の受益者負担について検討を進める。
- ・公的資金については、その財源についても検討を進める。
- ・経済的に困窮する家庭の支援についても検討を進める。
- ・休日クラブ活動の希望制への切替えタイミングとクラブ活動内容の整理

##### 取組事項（キ）

地域クラブ活動を行う団体等に対して、学校施設を優先して開放するなど、負担軽減や利用しやすい環境づくりを行う。

##### 取組の成果（キ）

- ・学校校舎のセキュリティを変更し、地域クラブ活動中の体調不良やケガの対応に学校の保健室を使用できるようにしている。
- ・通常の休日のクラブ活動の他、体験教室、講習会についても、学校体育施設を優先的に使用できるようにしている。

##### 今後の課題と対応方針（キ）

- ・学校体育施設は、社会体育事業の一環で貸出しを行っており、市民で構成されたスポーツサークル団体やスポーツ少年団が定期的に使用し空き時間がほとんどない状況である。現在は、中学校を主体に地域クラブ活動を行っているが、今後は、小学校での地域クラブ活動を想定した調整についても検討する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ク：その他の取組

##### 取組事項

厳しい財政状況の中、地域移行する休日部活動を拡大していくにあたり、公的資金の財源として、ふるさと納税型のクラウドファンディングによる寄付金集めを実施した。ふるさと納税型クラウドファンディングについては、令和5年度から継続して実施している。

##### 取組の成果

#### ふるさと納税型クラウドファンディング

※ポータルサイト運営会社に係る委託経費、返礼品に係る経費等（寄付金額の約50%は市負担で実施した。）

【名称】 守谷市地域クラブ応援サポート  
【募集期間】 令和6年10月3日から令和6年12月31日まで（90日間）  
※ふるさとチョイスの規定により募集期間は最長90日間  
【目標金額】 5,000,000円  
【寄付金額】 10,094,500円（支援者439人／達成率201.8%）  
【寄付金の使途】 基金に積立て次年度以降の地域クラブ運営費に充当  
【ポータルサイト運営会社】 株式会社トラストバンク（ふるさとチョイス運営）

令和5年度

【募集期間】 令和5年11月22日から令和6年2月19日（90日間）  
【寄付金額】 5,691,000円（支援者237人／達成率113.8%）

#### ふるさと納税型クラウドファンディングの経費内訳

2024年6月に総務省に報告した令和5年度ふるさと納税経費49.4%から令和6年度の経費を寄付金の約50%と見積もった。

【参考】 令和5年度ふるさと納税経費内訳

| 項目           | 割合    |
|--------------|-------|
| 返礼品等の調達に係る費用 | 28.5% |
| 返礼品等の送付に係る費用 | 8.4%  |
| 広報に係る費用      | 0.6%  |
| 決済等に係る費用     | 1.7%  |
| 事務に係る費用      | 10.2% |
| 合計           | 49.4% |

出典：守谷市財政課

#### 今後の課題と対応方針

ふるさと納税型クラウドファンディングについては、令和5年度及び令和6年度の2年間継続して実施したが、ともに目標金額を上回る寄付を集めることができた。寄付金という性質上、安定した財源とすることができるかは、まだ検証が必要であるが、現在のふるさと納税制度が継続されるのであれば、当面の間、部活動地域移行のために投入する公的資金の財源として活用することとする。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

令和6年度は、「守谷市部活動地域移行推進プラン」の改革推進期間（令和5年度～令和7年度）の中間年となるが、地域移行可能な休日の部活動から段階的に地域移行を行うという基本方針に従い、令和5年度12部活動、令和6年度19部活動と順調に地域移行数を増やすことができています。

地域移行の運営主体となる守谷市スポーツ協会においても、コーディネーター・指導者等の人材確保、運営経費の増大、活動費用の受益者負担の検討等の課題はあるが、地域移行の拡大に向け、保護者説明会や生徒・保護者へのアンケートを実施し、子どもたちの気持ちを大切にしながら地域移行を実践してきている。実際の活動においても、指導者研修の実施や「危機管理マニュアル」の策定など、安全で効果的なクラブ活動を心掛け、学校部活動以上の充実した活動を行いながら、既存の部活動にはなかった新しい種目の体験会等を積極的に開催するなど、活発な運営が行えている。

#### ●成果の評価

・「守谷市部活動地域移行推進プラン」に基づき、順調に休日部活動の地域移行を進めながら、地域移行における課題を解決し、運営体制の礎を築けている。

地域移行した部活動の割合 約45.2%

地域移行した部活動 19部活動 / スポーツ系部活動 42部活

・現在の学校部活動の延長としての地域移行を推進していくためには、多くの指導者人材を確保しなければならず、運営経費も増大してしまうことから、今のような方法では休日学校部活動の完全地域移行を実現することは困難であることがわかってきた。

#### ●今後に向けて

- ・経済的困窮世帯等に配慮した受益者負担を検討する。
- ・地域クラブ活動を支える公的資金の財源について、ふるさと納税型クラウドファンディングの実証を継続しながら、企業版ふるさと納税等の新たな財源を積極的に検討する。
- ・令和7年度は、改革推進期間（令和5年度～令和7年度）の最終年度となることから、地域クラブの運営等に関する課題の検証を進め、令和8年度以降の地域移行プランを検討する。

## 2.実証内容と成果②

### 地域クラブ移行のためのアンケート結果

#### ●アンケート

令和9年度から中学校体育連盟が主催する全国中学校ハンドボール大会が廃止されることに伴い、令和7年度ハンドボール地域クラブ設立に向けてアンケートを実施

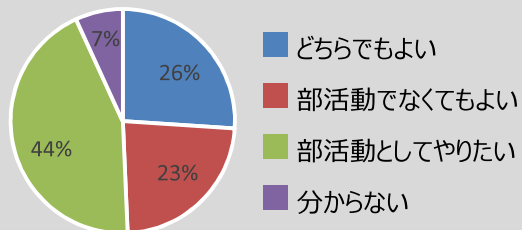
【対象】 市内中学校ハンドボール部（男女）生徒、保護者 73名

【実施】 令和6年11月

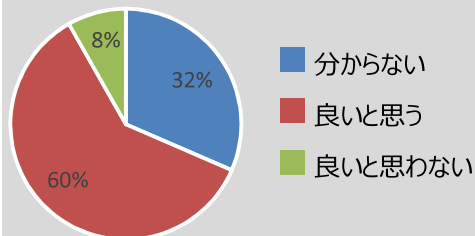
#### ●アンケート結果抜粋

生徒への質問

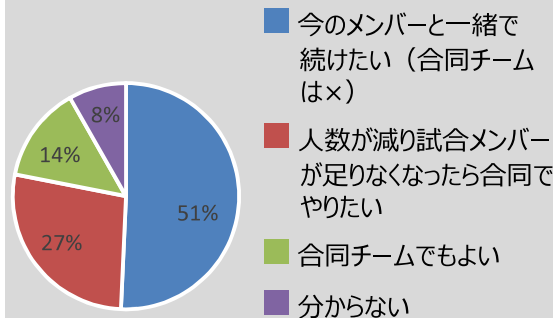
Q.ハンドボールが出来る環境（クラブ）があれば、学校部活動ではなくても良いと思いますか？



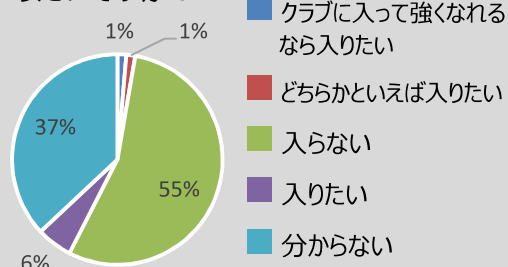
Q.他校や他市の生徒と一緒に活動できるクラブに入ることができたら良いと思いますか？



Q.チームメンバーについて

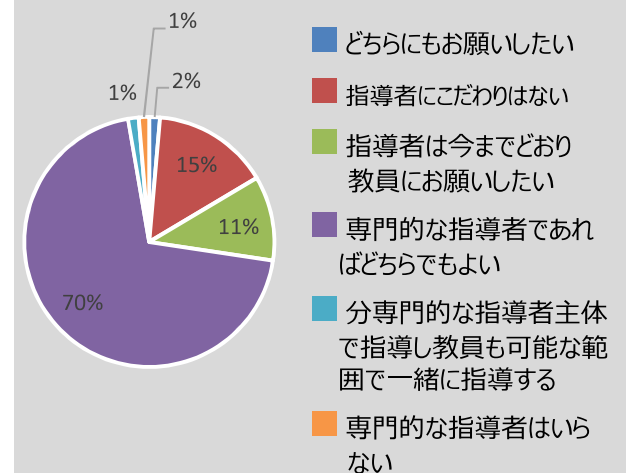


Q.自分が入りたいと思うクラブが見つかったら、今のチームを離れ、そのチームに入りたいですか？



保護者への質問

Q.地域クラブの指導者はどういう方（教員の兼務、専門的な指導者）が良いかお聞きます。



## 2.実証内容と成果③

### MSCC危機管理マニュアル内容（目次）

## MSCC危機管理マニュアル

本マニュアルはMSCC（守谷スポーツ文化クラブ）の危機管理のために作成したものであり、学校の危機管理マニュアルに準じて作成しております。学校において見直された部分については、随時見直しを行っていきます。



危機管理

#### 目次

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 1 事故防止のために                      | 1  |
| ◆危機管理マニュアルの目的と位置付け              | 1  |
| ◆危機管理の基本方針                      | 1  |
| ◆MSCCスタッフ（指導者、現場責任者等）・関係者等への周知等 | 2  |
| ◆マニュアルの保管方法                     | 3  |
| ◆マニュアルの見直しと改善                   | 3  |
| 2 事前の危機管理                       | 4  |
| ◆守谷市の現状                         | 4  |
| ◆危機管理の前提となる危機事象等                | 4  |
| ◆平常時の危機管理体制                     | 9  |
| ◆犯罪被害防止対策                       | 9  |
| ◆生徒の安全管理・熱中症対策の徹底               | 10 |
| ◆WBGT計測器を使用時の対策                 | 11 |
| ◆施設設備の安全管理                      | 11 |
| ◆スタッフの安全管理                      | 12 |
| 3 緊急時の連絡体制                      | 14 |
| (1) 基本体制                        | 14 |
| (2) 注意事項                        | 14 |
| (3) 救急車の呼び方                     | 15 |
| (4) 医療機関及び連絡先                   | 15 |
| ①《総合病院、内科、小児科等》                 | 16 |
| ②《眼科、耳鼻咽喉科》                     | 17 |
| ③《歯科》                           | 17 |
| ④《整形外科》                         | 18 |
| ⑤《整形外科（接骨院）》                    | 18 |
| 4 発生時（初動）の危機管理                  | 20 |
| (1) 不審な人物来校時の対応                 | 20 |



危機管理

|                                                  |    |
|--------------------------------------------------|----|
| (2) -1 不審者・変質者等の対応【登下校】                          | 20 |
| (2) -2 不審者・変質者等の対応【建物内への侵入】                      | 21 |
| (2) -3 不審者・変質者等の対応【グラウンドへの侵入】                    | 22 |
| (3) 活動中の事故対応フロー                                  | 23 |
| (4) 一次救命処置対応                                     | 24 |
| (5) 心停止の救命処置対応                                   | 25 |
| (6) 頭頸部外傷への対応                                    | 26 |
| (7) 登下校中の事故対応                                    | 27 |
| (8) 伝染病・食中毒への対応                                  | 28 |
| (9) アレルギー症状への対応（エビベン使用）                          | 29 |
| (10) 気道異物除去への対応                                  | 30 |
| (11) -1 熱中症発生時の対応                                | 33 |
| (11) -2 熱中症対策について                                | 34 |
| (11) -3 熱中症のリスクを踏まえた対応                           | 34 |
| (12) 火災発生時の対応                                    | 35 |
| (13) 地震発生時の対応                                    | 37 |
| (14) 竜巻等、天候急変時（大雨等）の対応                           | 38 |
| 1 避難の指示                                          | 40 |
| ※目視で雷を確認できるような緊急の場合は、発見者が避難指示を出す。その後、現場責任者へ報告する。 | 40 |
| ・屋外にいる場合は速やかに屋内に避難する。                            | 40 |
| ・雷が鳴り止むまで屋内に待機させる。                               | 40 |
| 2 情報の確認、学校待機の判断（現場責任者）                           | 40 |
| ・新しい雷雲の接近に注意し、気象情報で安全を確認して活動が再開できるかどうか判断する。      | 40 |
| 3 下校、保護者への引き渡しの判断（現場責任者）                         | 40 |
| ・下校時刻になっても雷が鳴り止まないときは、学校に待機させる旨、保護者にメール等で連絡する。   | 40 |



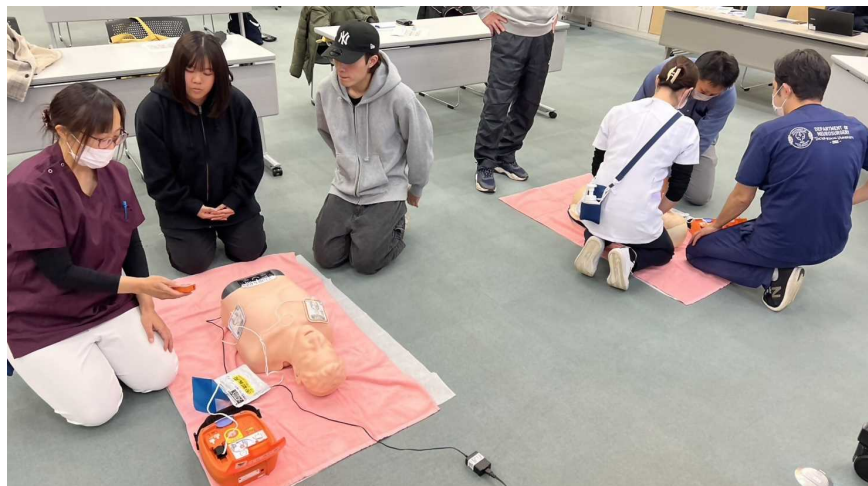
危機管理

|                                           |    |
|-------------------------------------------|----|
| ・気象情報を確認し、下校が難しいと判断されるときは、保護者に引き渡しの連絡をする。 | 40 |
| ・引き渡しが無事終了するまで、学校で待機させる。                  | 40 |
| ・下校の状況を学校管理職及び市教委等へ連絡する。                  | 40 |
| (15) 災害時の生徒の下校について                        | 41 |
| (16) 大会等出先での大地震・津波への対応                    | 42 |
| (17) 盗難・器物破損事故の対応                         | 44 |
| (18) -1 喧嘩、いじめなどへの対応                      | 45 |
| (18) -2 いじめ問題への対応《学校での対応》 参考資料            | 46 |
| (19) 体罰発生時の対応                             | 47 |
| (20) スタッフの交通事故、負傷事故発生時の対応                 | 48 |
| (21) 保護者とのトラブルの対応                         | 49 |
| (22) ハラスメント行為への対応                         | 50 |
| (23) インターネットウイルスへの対応                      | 51 |
| (24) -1 弾道ミサイル飛来時の対応【事前・在校時】              | 52 |
| (24) -2 弾道ミサイル飛来時の対応【登校前、登下校時】            | 53 |
| (25) 練習試合・大会等、校外活動における生徒の安全管理の徹底          | 54 |
| 5 付録                                      |    |
| ・MSCC版 台風（大雨）想定 タイムライン（令和6年度作成予定）         |    |

出典:MSCC危機管理マニュアル

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【指導者講習会（救命救急）】



【指導者講習会（身体のコディショニング）】

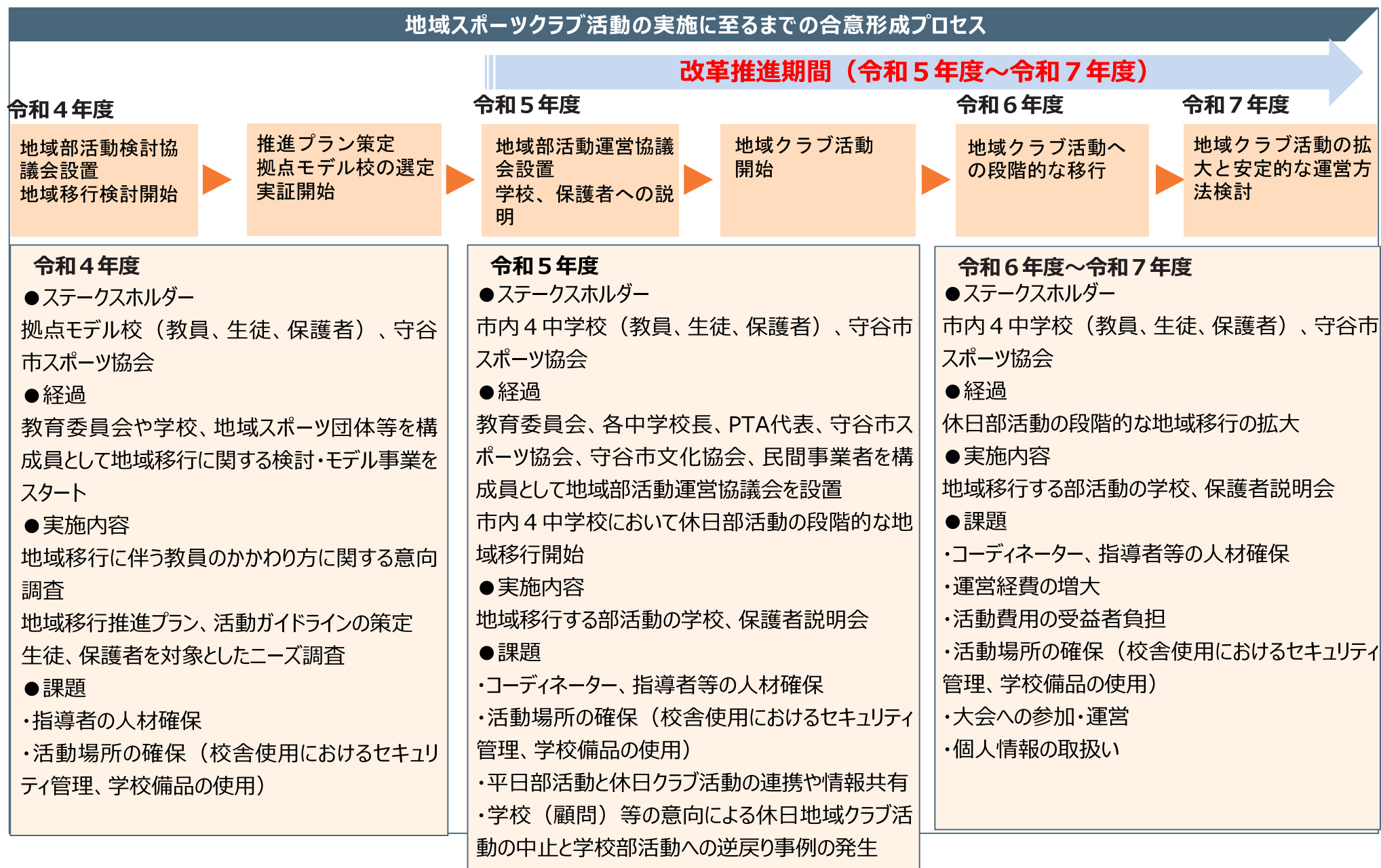


【地域クラブ活動（卓球）】



【体験教室（ダンス）】

## 2.実証内容と成果



### 3. 今後の方向性

#### 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

※守谷市部活動地域移行推進プランの改革推進期間（令和5年度～令和7年度）

